



WEBにも掲載しています

大崎第一
地域ニュース



はなぐるま

第184号 2026.8.20 発行

編集 はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL:3491-2000
sakilc@city.shinagawa.tokyo.jp FAX:3491-2002
発行元 大崎第一地域センター

大崎第一探訪

地域の人や場所の「今」

大崎第一地区を中心に、品川区の人物や施設をご紹介いたします。時代とともに変わりゆく地域の姿と、そこに暮らす人々を通して品川区の魅力を共に再発見しましょう。

今回は品川消防署五反田出張所について、高瀬所長にインタビューしました。



高瀬所長

まず、所長のご経歴を教えてください。

高瀬所長（以下、高瀬）：2026年4月1日に五反田出張所へ着任しました。それまでは品川消防署本署の予防課で勤務し、建物を建てる際の消防検査や確認申請の消防同意、飲食店などのテナントが入居した際の消防検査などを担当していました。

なぜ消防士を目指したのですか。

高瀬：子どもの頃に、現場で活動する消防士の姿を見て憧れたことがきっかけです。消防には消火だけでなく、救急や救助など幅広い仕事があることを知り、やりがいがあると感じました。最初は江東区の城東消防署に配属され、その後は都内各地の消防署で勤務してきました。

五反田出張所では、どのような体制で地域の安全を守っているのでしょうか。

高瀬：五反田出張所には常時2台のポンプ車を配置しており、30名の職員が勤務しています。消防隊員は3交替制で24時間勤務しており、出勤がない時間には訓練や体力づくりにも取り組んでいます。火災現場では重い装備を着けて活動するため、日頃から体を鍛えておくことが欠かせません。



消防隊の皆さん

五反田出張所の管内にはどのような特徴がありますか。

高瀬：五反田出張所では、西五反田、上大崎、東五反田の一部を担当しています。この地域はオフィスビルやホテル、飲食店が多いことが特徴です。

消防隊の仕事について教えてください。

高瀬：普段は、火災が発生した際はもちろん、交通事故の現場での救助活動やガソリン漏れへの対応、玄関ドアが開かず中にいる方の安全確認が必要な場合にも出動します。また、救急車の到着まで時間がかかる場合には、先に現場へ向かい、応急処置を行うこともあります。また、建物の立ち入り検査や、地域の防災訓練の指導も行っています。

地域の皆さんとは、どのような関わりがありますか。

高瀬：町内会や事業所の防災訓練に伺い、消火器の使い方や災害時の対応について指導しています。また、地域のお祭りなどの行事にも協力させていただいています。保育園のお子さんたちが、消防車や消防隊員の装備を見学に来ることもありますね。

地域の方に、防災のために気を付けてほしいことはありますか。

高瀬：台風や大雨に備えて排水溝の掃除をしておくことが大切です。大雨の際は地域の防災放送なども確認し、早めの避難行動を意識していただきたいと思います。品川区のHPでは、誰でも利用できる水防用土の置き場一覧を公開していますので、事前に確認しておく安心です。また、最近のリチウムイオン電池による火災も増えています。充電中に熱くなったり、膨らんだりといった異常が見られた場合は使用を中止し、適切に処分してください。



リチウムイオン電池
の火災防止チラシ



品川区のページはこちら

どのようなときに仕事のやりがいを感じますか。

高瀬：地域の方から感謝の言葉をいただいたときは、やはりうれしいですね。感謝されることを目的にしているわけではありませんが、「ありがとう」と言っていたら、この仕事をやっていてよかったと感じます。

最後に、読者へのメッセージをお願いします。

高瀬：地域の皆さんに信頼され、頼りにしていただける出張所になりたいと思っています。実は、出張所の前には金魚の水槽があるんです。一時期は空になっていましたが最近再開いたしました。通りがかったときにも、ぜひのぞいてみてください。

品川消防署五反田出張所

住所：東京都品川区西五反田7丁目25-14
電話番号：03-3492-0119（代表）
◆救急車を呼ぶべきか迷ったときは
東京消防庁救急相談センター：#7119

（編集委員 白根）

大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにも SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！

※後日、地域共創メディア「大崎×五反田 LINK」にカラーの記事が掲載されます。



X (旧: Twitter)
@osakidai1



Instagram
osakidai1



大崎×五反田 Link
OSAKI x GOTANDA LINK

地域共創メディア
『大崎×五反田 LINK』



中原児童センター

親子のひろば 0歳クラススタート つくしんぼ(0歳児) R8.4.2～生まれ

日時：9月10日(木)～毎週木曜日 13:30～14:15
内容：ふれあい遊びや子育て情報の交換
※その他のクラスは9月8日(火)～スタートです。
詳しくはお問い合わせください。

幼児食講座

日時：9月17日(木) 10:30～11:30
講師：品川栄養士会 栄養士
対象：幼児親子(おおむね1歳～3歳)
定員：12組
申込：9月1日(火)～来館または電話受付

お問い合わせ：中原児童センター 03-3492-6119
東五反田児童センター 03-3443-1629

防災への意識を連携して高めよう

首都直下型大地震が今後30年の間に起こる可能性は70%と言われ、各町会・自治会は、防災区民組織として、災害発生時の被害を最小限に抑えるため、平時からの様々な防災への取り組みが求められています。近年は、単町会・自治会だけでなく、連携しての啓発活動も増えてきました。

6月11日(木)には、大崎第一地域防災対策三者連絡会議による防災訓練が行われました。6町会、5企業、関係官公署の約80名が参加し、大崎警察署による担架搬送訓練、品川消防署による消火器訓練のほか、水道局と防災課によるワークショップほか、東京消防庁所有の迫力満点のVR防災体験車を用いた地震体験などもあり、共に地域の防災意識をより一層高める良い機会となりました。

また、6月24日(水)には、五反田パレユニバーシティによる「五反田防災ミートアップ」という地域と企業の防災への取り組みやサービスなどを紹介し合い、「防災」を考えるきっかけとする時間が設けられました。町会・企業・大学・NPO・行政と様々な立場から約30名ほどが集まり情報交換を行いました。

9月1日は防災の日です。いつ起こるかわからない災害に対して、五反田に住んでいる、働いている、学んでいる人々が、共に五反田地域の防災を考える機運が高まればいいですね。

(外山)



もう少し 広く住みたい 金魚鉢

品川区在住 80代 ももちゃん

食事むせ 嬉しひと言 急がずに

西五反田二丁目 大島 道子

川柳・俳句

地域ニュース「はなぐるま」では、川柳・俳句・イラストを募集しています！
右記二次元コードから、ぜひご応募ください！



東五反田児童センター

幼児食講座

日時：9月29日(火) 10:30～11:30
講師：品川栄養士会 栄養士
対象：幼児親子(おおむね1歳～3歳) 定員：12組
申込：9月1日(火)～来館または電話受付

親子で運動遊び

日時：10月10日(土) 10:30～11:30
講師：山下雅史先生(幼児体育インストラクター)
対象：6か月以上の未就学児の親子 定員：15組
申込：9月14日(月)～来館または電話受付

ベビーマッサージ

日時：10月22日(木) 10:30～11:30
講師：一般社団法人品川港助産師会 助産師
対象：おおむねハイハイ前のお子さんとその保護者 定員：12組
申込：10月1日(木)～来館または電話受付

卒乳のおはなし

日時：10月26日(月) 10:30～11:30
講師：一般社団法人品川港助産師会 助産師
対象：卒乳に興味があるかた 定員：12組
申込：10月1日(木)～10月23日(金)まで

第8回 日野愛ほっとステーション



6月25日(木)午後4時から日野学園ランチルームで今年も第8回日野愛ほっとステーションがおこなわれました。当日はダブル台風の影響もあり、あいにくの雨模様でしたが、地域の高齢の方々が50名ほど参加されました。7年生から9年生の有志の生徒さん、吹奏楽部の生徒さん、校長先生をはじめ先生も多数参加されました。

生徒さん考案のNGワードゲームでは各グループが大いに盛り上がり、笑い声が絶えませんでした。吹奏楽部の伴奏での校長先生の熱演、先生方や参加者全員での合唱など賑やかで楽しい1時間を過ごしました。今年で8回目を迎えた日野愛ほっとステーションですが、参加人数も増えてきて、毎回工夫を凝らした企画で楽しませてもらっています。来年はどんな内容かなと今から楽しみです。

(編集委員 服部)



しながわ電気・ガス料金緊急支援事業

全世帯対象 1世帯あたり4,000円を還元給付

電気・ガス料金の緊急支援事業を実施します。

◆申請受付期間：9月1日(火)～10月31日(土)

(対象：令和8年6月1日時点で住民登録のある世帯主)

◆8月下旬から申請案内をお送りします。

詳細は広報紙8/15号、または、区ホームページをご確認ください。

【問い合わせ先】

地域活動課 しながわ生活応援担当 TEL：5498-6350

コールセンター(8/25開設) TEL：0120-667-621



編集後記

年々暑い夏が増えていきますね。一日中冷房の中で過ごしていると、体が冷えて頭痛が起きたり、だるくなりませんか？そんな時には肩を回したり体を動かすと血流が良くなり、症状が緩和する事があります。

私は運動が苦手です。今までやってきませんでしたが、最近トレーニングジムが近隣に出来たこともきっかけになり、少し運動するようになりました。呼吸の仕方や足の裏の使い方で腰痛が少しずつ改善されたり、楽しく体を動かしています。

また下半身の筋力は上半身の筋力の3倍の速さで衰えると聞き、体の動かし方を日々の生活に取り入れながら、心身共に元気に過ごすことの大切さを感じています。

(編集委員 小林)

●地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や川柳・俳句・イラストなどお気軽にお寄せください。編集委員も随時募集中です！一緒に紙面作りをしましょう。大崎第一地域センター 電話 3491-2000 までご連絡ください。

